

管理運営評価シート(令和4年度)

施設名称	デイサービスセンター「ゆり花荘」	評価対象年度	令和 4 年度
指定管理者名	社会福祉法人 村上市社会福祉協議会	所管課	介護高齢課
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)	評価者(課長)	大滝 きくみ

1 令和4年度の実績

(1)事業実績

利用実績	定員25人／日、304日開所、延べ利用人数 5,921人(前年比1人増)
サービス向上の取組	①時間外の受入も柔軟に対応し家族の介護負担軽減に努めた。②地区マネ会議を実施し、利用者増への取組を行った。③ケアマネへの空き情報や広報誌を配布した。④ご利用者、家族へも季節ごとに広報誌を配布した。⑤TVを入れ替え、YouTubeにて利用者ご希望の歌謡曲等流し好評だった。⑥バスハイク等外出が難しかったので、施設の装飾に力を入れ利用者と一緒に飾りつけ作成した。手作りおやつレクも実施した。

(2)管理経費(障害含む)

(単位:千円)

区分		前々年度 (2年度)	前年度 (3年度)	当該年度 (4年度)	合計	備考
収入	指定管理料	0	0	0	0	基本協定額: 0 千円
	利用料金	3,712	3,844	3,849	11,405	利用者食費
	事業収入	45,715	52,113	53,416	151,244	介護報酬等
	自主事業収入	0	0	0	0	
	その他	4			4	
	収入合計 ①	49,431	55,957	57,265	162,653	
支出	人件費	43,583	42,705	48,147	134,435	職員・臨時職員給料等
	福利厚生費	149	145	162	456	健康管理費等
	事務費	287	139	234	660	事務諸経費
	管理費	4,621	4,466	4,331	13,418	
	水道光熱費	1,938	2,302	2,521	6,761	電気料、上下水道料等
	修繕料	807	267	209	1,283	施設修繕
	使用料・リース料	377	434	322	1,133	機器リース料等
	手数料・保険料	418	348	388	1,154	賠償責任保険料等
	委託料	1,081	1,115	891	3,087	施設警備、清掃委託等
	事業費	4,436	4,286	4,129	12,851	介護消耗品等事業運営経費
	自主事業経費				0	
	その他				0	
支出合計 ②	53,076	51,741	57,003	161,820		
収支差額(①-②)	▲ 3,645	4,216	262	833		

2 共通評価項目

(記入者)自己評価…指定管理者 所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考 (◎、△、×のときは評価内容、その他特記事項があれば記入)
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	○	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。(書類の保管、社員への周知等)	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	○	○	
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	○	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	○	○	
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	○	○	
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	○	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	○	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	○	○	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	○	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	○	○	
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	○	○	
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	○	○	
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	○	○	
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	○	○	
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	○	○	

◎:協定等の内容を超える水準で業務を履行している ○:協定等の内容どおり業務を履行しており適正

△:協定等の内容に対し、一部不履行がある ×:協定等の内容に不履行があり改善の必要がある -:該当なし

3 業務実施上の課題(指定管理者が記入)

(1) 指定管理業務実施上の課題
<ul style="list-style-type: none">・物価高騰により経営環境が厳しさを増しており、節電・節水等で経費削減を実施しているが収支状況の改善には厳しい状況にある。・日々の利用者数に応じ介護職員数を定め人件費削減に努めているが、見直しが必要である。・新型コロナウイルス感染症が5類移行予定も、感染力が弱くなるわけではない。昨年度のように休業や感染拡大する恐れがある。
(2) 課題解決に向けた取組
<ul style="list-style-type: none">・消耗器具等の購入は金額比較し少しでも安い業者から購入する。・業務の効率化の為、ICT導入を実施し人件費削減に講じる。・5類になることで様々緩和になることが予想されるが、利用者、家族からの情報を職員間で共有し、標準感染症対策を講じていく。
(3) その他
①利用者からの主な意見や苦情、対応策
別紙 利用者満足度調査表(アンケート調査)を参照
②その他

4 全体的な評価

(1) 指定管理者の評価
・昨年度より利用者実績、介護保険での収入は増加となっているが、感染症、水害、大雪での休業の影響も大きかった。感染症では陽性や職員濃厚接触者になる事で、代替え職員を配置することで人件費が掛かっていた。今後は職員が陽性、濃厚接触者になってもなるべく職員補充をせず、最小限の職員数で対応し人件費を削減していく必要がある。
(2) 施設所管課の評価
水害や大雪、コロナ等の影響があり休業を余儀なくされたが、利用者・家族要望への柔軟な対応や、各種研修会の事業所内での情報共有、サービスの広報などを行いつつ経費節減に努め、施設職員全体で資質向上を図っていた。
(3) 次年度の管理運営に対する指導事項等(施設所管課)
引き続き、利用者寄り添った特色あるサービスを提供し、地域に根差した事業所となっていきたい。